allcinema

荒鷲の翼（1956）

THE WINGS OF EAGLES

メディア 映画
ジャンル 伝記　ドラマ
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　110分
初公開日 1957/04/12
公開情報 ＭＧＭ

【解説】

海軍に空軍力をもたらしたことで勇名を馳せるフランク・ウィード、通称“スピッグ”中佐の伝記映画で、陸軍と、新型の飛行機をめぐって公私ともあい争う前段（妻ミニー運転のオープン・カーと空と地上で追っかけをする水上機が、プールに着水するスラップスティックな場面が傑作）は、ウェイン、オハラの老いが若干気になるが、茶目っ気たっぷりで大いに結構。しかし、それがウィードが階段を転げ落ちて脊髄損傷で半身不随となるリハビリの中段となると、すれ違いの生活でそう仲も良くなかったような彼と妻の現実と映画的感動の折り合いをつけるのがいよいよ困難になったと見え、旧友カースン（デイリー）の熱心な看護がその代わりに盛り込まれるにせよ、どうも作品の腰が弱まる。彼の後半生は、明朗健全な映画になるようなものでもないのに、フォードはその後も豪快な描写を積み重ね、それはガサツとも見える。ハリウッドにその武勇談を買われたウィードは、そこで脚本家として活躍、またフォードらしき監督（Ｗ・ボンドが演じてケッ作）の奨めでブロードウェイ劇を書いたりするが、ここが一際弱く、およそウェインという人は物書きに見えない。ま、それはウィードの人生でも付録のようなもので、第二次大戦勃発で現場復帰した彼は補助空母をコマンドにして海戦勝利に貢献する。しかし、ガンで余命いくばくもないのに気付き、勇退を決意。妻との若き日々に思いを馳せ、愛艦を後にする。フォードの豪放さを常に捕捉するきめ細やかな情感演出はほとんど効果を成していない。これはやはり題材が悪いのである。

【クレジット】

監督	ジョン・フォード	John Ford
製作	チャールズ・シュニー	Charles Schnee
原作	フランク・Ｗ・ウィード	Frank W. Wead
脚本	フランク・フェントン	Frank Fenton
	ウィリアム・Ｗ・ヘインズ	William W. Haines
撮影	ポール・Ｃ・ヴォーゲル	Paul C. Vogel
音楽	ジェフ・アレクサンダー	Jeff Alexander
出演	ジョン・ウェイン	John Wayne
	モーリン・オハラ	Maureen O’Hara
	ダン・デイリー	Dan Dailey
	ウォード・ボンド	Ward Bond
	ケン・カーティス	Ken Curtis
	メエ・マーシュ	Mae Marsh
	エドマンド・ロウ	Edmund Lowe
	ケネス・トビー	Kenneth Tobey
	シグ・ルーマン	Sig Ruman

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ヘンリー・オニール	Henry O'Neill
ウィリス・ボーシェイ	Willis Bouchey
ドロシー・ジョーダン	Dorothy Jordan

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.